

## 平成29年度 香芝市男女共同参画推進委員会 会議録

日時：平成30年2月22日（木）14時00分～15時47分

会場：香芝市役所会議室棟 第6会議室

### <出席者>

【委員】池木 郁子、梅田 直美、五百倉 英明、島津 聖、助定 雅章  
西本 亜樹、農業 淑子、林 正司、平越 國和、松村 徳子（順不同）

【事務局】地域振興局長（市民協働課長事務取扱）、市民協働課主幹、市民協働課副主幹、市民協働課主事

### <欠席者>

【委員】菅原 直美、深瀬 重雄（順不同）

### <傍聴者>

なし

### <議事概要>

1. 第2次香芝市男女共同参画プランの進捗状況について
2. その他

（事務局） ー開会ー

（事務局） 議事進行を池木会長にお願いする。

（会長） ー挨拶ー

次第1. 第2次香芝市男女共同参画プランの進捗状況について、事務局から説明をお願いします。

（事務局） 第2次香芝市男女共同参画プランの進捗状況について、説明。各施策担当課から提出された平成29年度第2次香芝市男女共同参画プランの進捗状況調書に基づき、報告。基本目標は4項目あり、基本目標ごとに説明し、委員の皆様の意見をお聞きしたい。

（事務局） ー基本目標Iについて、説明ー

（事務局） 未実施事業についての1つ目は、番号9の自治会に対し、男女共同参画の視点に立った運営ができるよう、周知・啓発を行う。2つ目は、番号14の事業者を対象に男女共同参画づくりのための講座等を実施する。以上です。

（会長） 特に未実施の事業について、ご意見等はないか。

（委員） 自治会の運営については、女性の視点がなぜ必要なのかみんなで共有、理解することが啓発だと思う。今、防災の男女共同参画が一番入りや

すいし、皆さんも大事なこととと思っていただける。女性の視点が必要であり、生活安全課とも協働して取り組んでいただければ良い。

(副会長) どの自治会も高齢化して、後継者不足ということが問題になっている。自治会が抱える課題の解決の為に、例えば自治会と市民活動団体と一緒に活動をやっていく場作りをやっていけば、あまり予算も使わずにできる。

(委員) 自治会に対する男女共同参画の啓蒙が必要である。

(委員) 自治会の役員を男性がするという概念は捨てないといけない。

(会長) もっとPRをしていただいたらと良いと思う。次に、番号14について、どうか。

(会長) 商工会での取り組みをお聞きしたい。

(委員) 商工会では色々と講座を実施し、最近では、継続して実施の事業として、創業者塾の香芝みらい塾がある。男性より女性の参加が多く、女性の社会進出が進んでいる機運を感じる。

(事務局) 香芝市は女性の就業状況では35～39才が低く、奈良県内でも女性の就業率が低い。一昨年に実施したアンケート調査の中の女性が活躍する取り組みについての項目で42.9%の事業所が特に取り組んでいないという結果が出ていた。こういったことを踏まえて、啓発の必要性は感じている。

(会長) 求人をしている事業所においては、求職者に魅力を感じてもらえるような取り組みが必要で、その為にも事業所向けの啓発が必要である。

(委員) 事業所の中での研修をやっていただけたらよい。

(事務局) 香芝市に企業内人権教育推進協議会があり、そこで男女共同参画の研修会を検討しては考えます。

(会長) 3月4日開催の産業展でも男女共同参画の啓発をしていただけたらよい。

(会長) 続いて、基本目標Ⅱ仕事と生活のあり方を多様に選択できる社会づくりについて、施策の進捗状況等について説明をお願いしたい。

(事務局) ー基本目標Ⅱについて、説明ー

(事務局) 平成30年度事業計画が未定の事業については、番号29の性別にかかわらず、だれもが働きやすい環境づくりを進めている事業者の取組内容等を男女共同参画の視点に立った職場づくりを推進している事業者のロールモデルとして紹介する、である。

(事務局) 番号29については、どのようにしたらよいかと思っている。皆さんから意見をいただけたらありがたい。

(会長) 香芝市独自のものを出したらよいのではないか。

- (事務局) 他市の事例も参考にしたい。
- (委員) 奈良県がやっている事業で、香芝市内の企業から応募があったところを香芝市で紹介すれば、アピールできる可能性がある。
- (会長) いろいろな情報を活用していただいたらよいと思う。続いて、基本目標Ⅲについて事務局から説明をお願いしたい。
- (事務局) ー基本目標Ⅲについて、説明ー
- (事務局) 未実施事業については、番号42学校現場において、子どもの心身の発達段階に応じたリプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する教育を行うと、番号48学校現場においてデートDVを中心としたDVの防止に向け、研修を教職員に対して行うほか、児童・生徒に教育を行うの2つです。
- (会長) 未実施の理由について、お聞きしたい。
- (委員) 番号42や番号48について、学校現場の立場からテーマは大切なのはわかるが、現状はいろんな課題が山積みのため、取り組めないような状況である。
- (会長) 外部から講師を招いて研修を実施することを学校教育課で考えていただいたら良いと思う。平成30年度の事業計画をできるだけ埋めさせていただくようお願いしたい。
- (委員) 教職員向けの全体の研修をやっていただければよい。
- (会長) 続いて、基本目標Ⅳについて事務局より説明をお願いしたい。
- (事務局) ー基本目標Ⅳについて、説明ー
- (事務局) 基本目標Ⅳ庁内における男女共同参画プラン推進体制の構築については、未実施事業はない。番号63と番号64審議会等において、さらなる女性参画の拡大を推進すると、女性職員の管理職への積極的な登用を推進するについては、本プランの成果指標に掲載されている。
- なお、推進体制の整備に係る本プラン進行管理の手法については、どのような方法が適切か悩んでいる。本日お示しの個別シートについても、他市を参考に調整したところであり、その点について何かご教示をお願いしたい。
- (副会長) 各所管の意識を高めるためにも、自己評価を出してもらい、その自己評価に対して、推進委員会で評価をする。そういうことをすると、より充実した進捗管理となる。
- (事務局) その項目は、次の推進委員会で反映させていただきたい。何段階でやるか等は、他の評価シートと勘案しながら、考えたい。また、内部評価については、所管課の評価、部内の評価と考えるところであり、ど

うするかは検討させていただきたいと思う。外部評価についてはこの推進委員会による評価と考えている。

(会 長) 男性の育児休暇を取得しているところは他市ではあると聞いている。公務員が民間企業に率先して、育児休暇を取得していただければよいと思う。

(委 員) 学校で、男性が育児休暇を取得したことは聞いたことはない。

(事務局) 人事課より育児休暇の制度については、アナウンスはしている。時短対応については、可能と思う。

(委 員) 育児休暇はハードルが高く、柔軟な働き方を進めていければよい。

(会 長) 最後に、何かご意見等はないか。

(委 員) 第2次香芝市男女共同参画プランは70施策と総花的になっている。平成29年度で一押しの事業はどれか。

(事務局) 人権でいろいろと事業をやっているが、男女共同参画ではなかなか言いくいと思う。今後言えるように頑張りたい。

(副会長) それを出す為にも、内部評価が必要である。

(委 員) まちづくりで大事なのは自治会であり、自治会の中で子どもを中心に活動を進めていけば、地域づくりが進んでいく。

(会 長) 最後に、副会長より総評等をお願いしたい。

(副会長) このプランを進捗していく上で、人、モノ、金が重要であり、さらに、今は「ソーシャルキャピタル」が言われていて、つながりが重要である。お金で足りないことはつながりでカバーしていく。それぞれの所管課が自分のところは男女共同参画に関して自慢のところを出していただければより充実していくと思う。また、所管課同士のつながりも重要である。

(会 長) 所管課毎に継続してプラスアレンジして工夫していただきたい。本日の各委員からの貴重な意見について、各施策の実施所管課にお伝えいただきたい。

(事務局) 会長、議事運営ありがとうございました。

(局 長) ー挨拶ー

(事務局) ー開会ー